

皮膚科治療で考えること

西洋保険診療の範囲

エネルギー
医学

物理的
影響

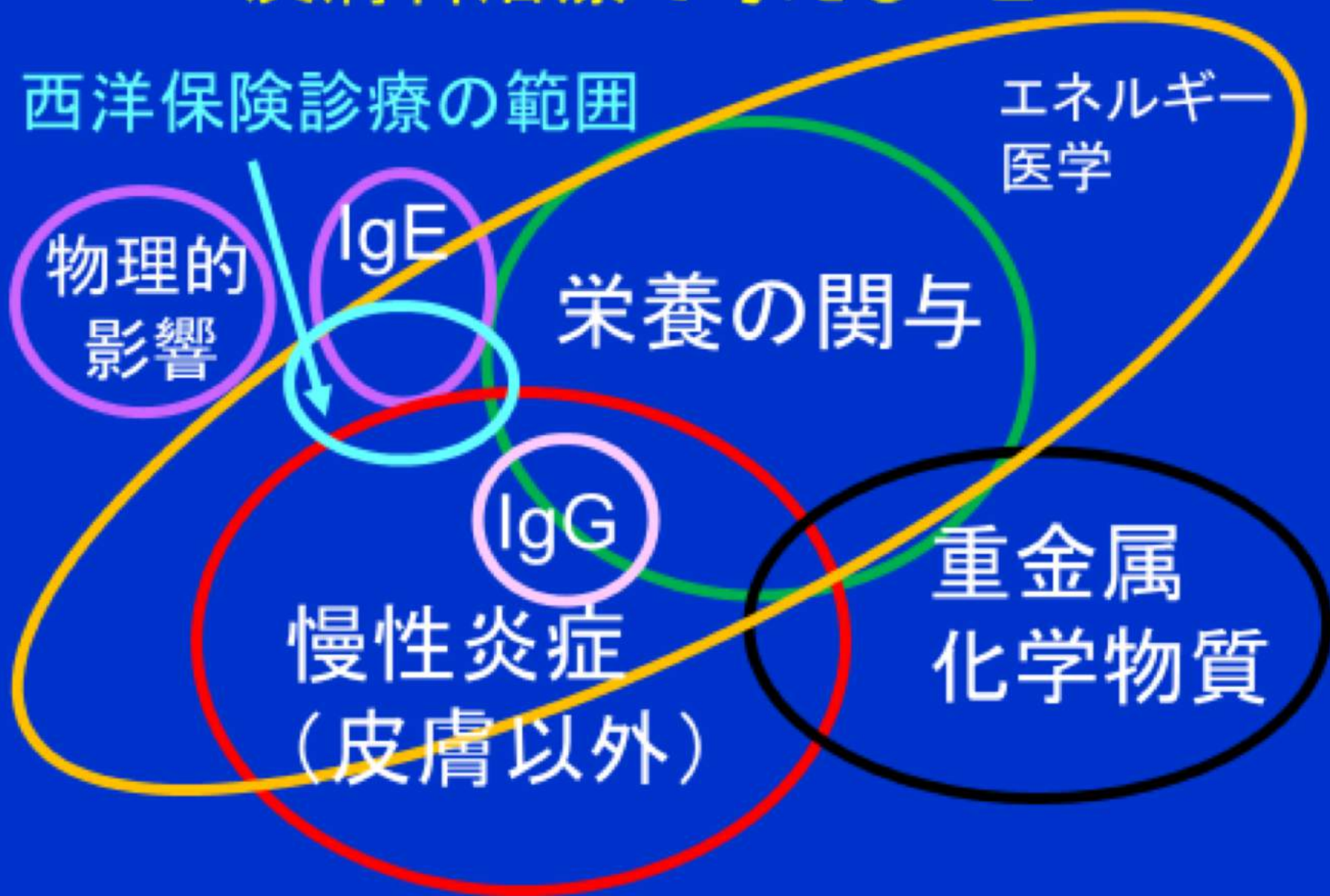
IgE

栄養の関与

IgG

慢性炎症
(皮膚以外)

重金属
化学物質



栄養療法でのアトピー性皮膚炎治療

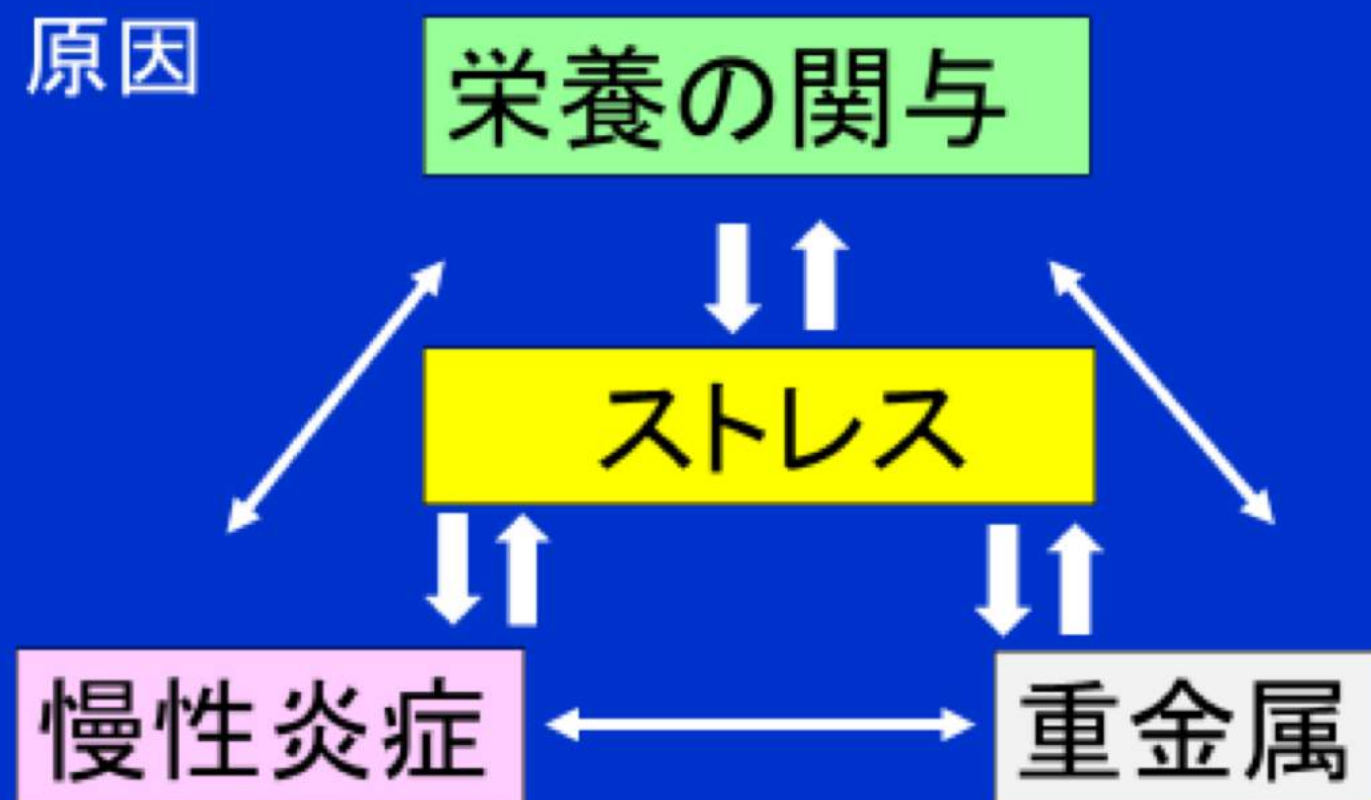
診察・検査(優先順位)

- 1) 問診(不定愁訴・消化器症状・生活習慣・食事内容・嗜好品)
- 2) 皮膚(+髪・爪・口腔内・かかと)の観察
- 3) カンジタの関与含め消化器症状再確認
- 4) 鼻腔・咽頭・扁桃粘膜症状の有無
- 5) 遅延型アレルギーの関与を問診(GFCF):必要なら検査
- 6) ストレスの有無:低血糖症の関与(副腎機能の改善含めて)
- 7) 摩擦にともなう皮膚炎の存在(皮膚バリア機能の低下)
- 8) 血液検査(炎症、不足したタンパク・ビタミン・ミネラルなど)
- 9) 25OHビタミンD検査で免疫などの確認
- 11) 脂質4分画検査: $\omega 3/\omega 6$ の油の比率
- 12) 口腔内歯科金属の関与を疑えば、専門の歯科紹介

※ 漢方所見(望診・舌証・腹証)も参考にする

栄養療法での皮膚科治療

原因



原因別の検査の基本

① 栄養の関与（診断）

- i 肌症状から不足する栄養素を想像する
- ii 消化管からの吸収障害を考える
（胃酸・消化酵素・ピロリ菌・SIBO）
- iii 食事で不足する栄養素
- iv 生活習慣で失われる栄養素とは？
- v 血液検査

※CFGF＋トランス脂肪酸＋加工品厳禁
（給食も・・・2週間で効果確認）

原因別の検査の基本

② 慢性炎症・・・

皮膚以外のどこかにあるのでは？

- i 消化管（問診、IgG、カンジタ）
- ii 象牙細管、歯根部の感染（歯科と連携）
- iii 慢性扁桃腺
- iv 慢性上咽頭炎
- v 副鼻腔炎

原因別の検査の基本

③重金属(および化学物質)

- i 歯科金属の影響を歯科と連携
(アマルガム・パラジウム合金・銅セメント・・・etc)
- ii 仕事で貯まる重金属を予想
- iii 生活習慣で貯まる重金属を予想
- iv 毛髪ミネラル検査
- v トリマーキュリー検査
(血液、尿、髪の毛の3検体からの検査)